

二次骨折予防を目的とした骨粗しょう症疾患啓発 報告書【概要版】 大阪市健康局 健康推進部 健康づくり課

事業概要

目的

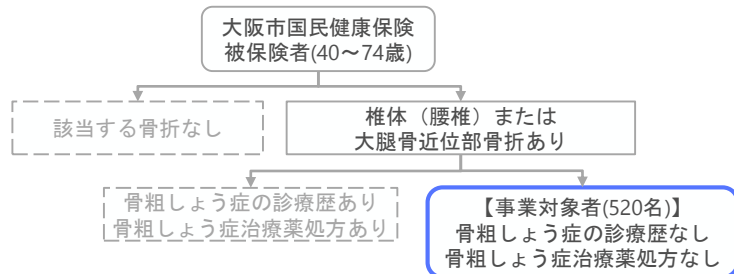
- 骨粗しょう症による再骨折の可能性を伝えることで適切な検査と治療へ誘導し、健康寿命の延伸と医療費介護費の適正化を推進する。

背景

- 大阪市民の介護認定を受けた主な原因や病気については、「骨折・転倒」が13.8%で最も多くなっている。
「令和元年度 大阪市高齢者実態調査報告書（介護保険サービス利用者調査編）」より
- 骨折の中でも、わずかな外力で生じる骨折（脆弱性骨折）を経験した人は骨粗しょう症による骨折をくり返すリスクが高い。しかし、現状の骨粗しょう症の治療率は十分でないことから、本事業を通じて治療率を向上させ、再骨折を予防することを目指した。

対象者

- 大阪市の国民健康保険被保険者のうち、過去のレセプトデータ*から、脆弱性骨折（椎体骨折または大腿骨近位部骨折）を経験しているが、骨粗しょう症の治療の履歴がない方 *診療報酬明細書、本事業では2015年11月～2020年11月診療を使用範囲としている



体制・スケジュール

- アムジェン株式会社、株式会社キャンサーズキャンと骨粗しょう症疾患啓発の協定を2020年11月に締結し、勧奨通知は2021年3月17日に発送した。

実施方法

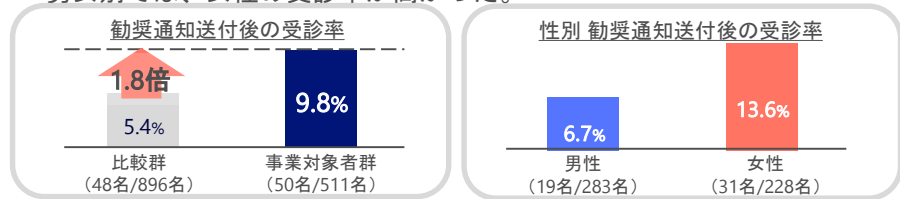
勧奨通知の内容

- 骨粗しょう症を自分ゴト化し、行動変容を促す“ナッジ”として、対象者の過去の骨折歴を示し、「骨折歴のあるあなたへ大阪市からの大切なお知らせ」という印象を持たせるオーダーメイドの勧奨通知を作成した。また、市内の骨粗しょう症精密検査で連携している医療機関一覧を同封し、行動へと移しやすい動線を作った。
※勧奨資材サンプルは次頁を参照

事業結果・考察

勧奨結果

- 通知送付7ヵ月後の骨粗しょう症に関する医療機関受診率は9.8%であり、比較群の1.8倍の受診率であった。（対象者520名のうち通知送付前に骨粗しょう症に関する診療記録があった9名を除いた511名を結果解析の対象とした。また、比較群として、前年同時期の同定義の対象者の受診状況を設定した。）
- 男女別では、女性の受診率が高かった。



今後の展望

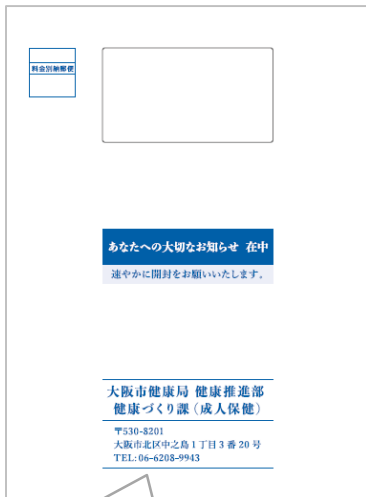
- 骨折リスクが高い方に個別の啓発通知を送付することで、骨粗しょう症の診断や治療率の向上に繋がることがわかった。
- 一方、男性は女性に比べ受診に繋がりにくく、今回と同様の取り組みを行う場合には効果的なターゲットになりにくいこともわかった。
- 男性には別角度からのアプローチを検討する必要があるが、骨粗しょう症が要因で発生する骨折は健康寿命に影響するだけでなく、医療費や介護費に与える負荷も大きいいため、まずは骨粗しょう症の啓発が効果的な市民により多く届けていきたい。

二次骨折予防を目的とした骨粗しょう症疾患啓発 報告書【概要版】 大阪市健康局 健康推進部 健康づくり課

参考資料

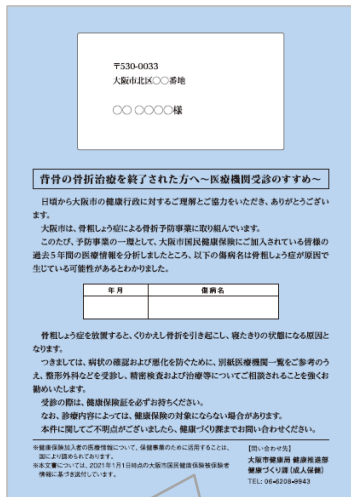
- 骨折歴（骨折傷病名と最終診療年月）を記載した案内状、医療機関リスト、リーフレットを封入した勸奨通知を送付した。

封筒



個人情報が入っていると思われる封筒で、関心を惹きつける（注意喚起）

案内状

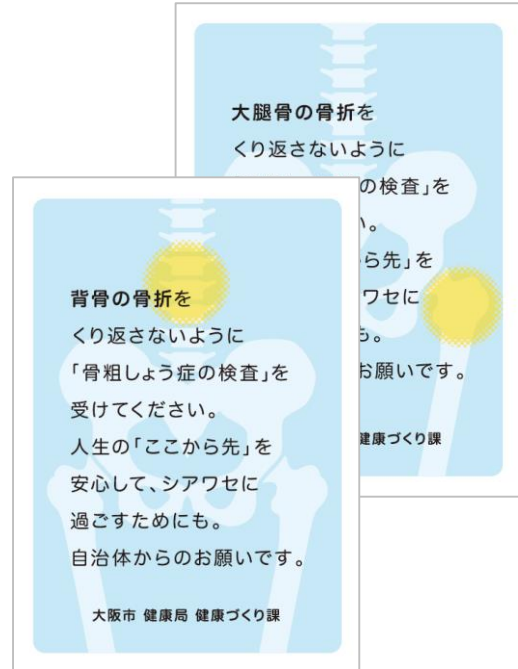


宛名情報と同じ面に骨折の診療記録(骨折名と受診時期)を掲載し、「私にとって大事な内容である」と印象付ける

医療機関リスト



リーフレット



大阪市民健康保険 健康づくり課 (成人保健)

〒530-8201 大阪市北区中之島1丁目3番20号 TEL: 06-6208-9443

大阪市民健康保険 健康づくり課 (成人保健) TEL: 06-6208-9443